

ながとじん 長門人

私は二次募集でこの水産高校に came ました。でもこれで本当に良かったと思っています。それはボート部に入学したこととです。そこではいろいろな思い出があります。試合のこと、結果のことはもちろん、それまでの過程が忘れられません。最初は船にも乗れなかったこと。徐々に上手くなっていく自分。他校に圧倒され自信喪失した時。極限の状態で声を出し合っ て耐えた時などがありました。 つらいことばかりだけど漕ぐた びにスピードが速くなっていき ました。進歩が著しく見えて、 そんな自分が頼もしく思えまし た。だからどんだん上を目指し たくなりました。

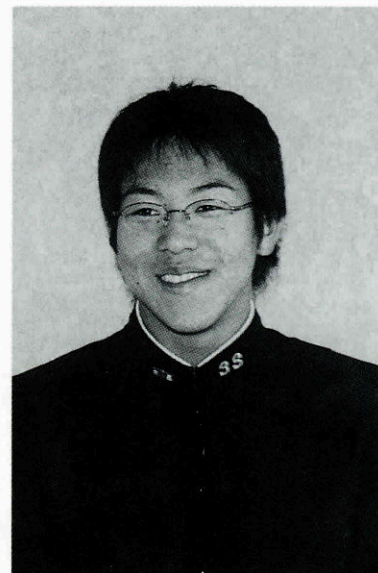


第12回全国高等学校選抜ボート大会兼JOCジュニアオリンピックカップ

いろいろな大会でいい結果が 残せたのも練習のおかげです。し かしそれを支えてくれた監督や チームメイトのおかげでもありま す。これから大学に行つて、も つと強くなつて恩返しをしたい と思います。

ボート部の思い出

—連絡帳—



早川源太郎さん

はやかわげんたろう／昭和58年7月9日生
水産高校3年／日置町



みんなで若返ります

—仲間たち—

手編グループ

連絡先 開作靖恵 (板持4区) 22-1823

私たちのグループは毎週水曜 日に、編み物の大好きな人が集 まつて習っています。50歳代か ら80歳代まで年齢差は関係なく、 楽しんで編んでいます。孫や曾 孫、子どもや自分のと、作品が 編み上がるのを皆で楽しみにし ています。モデルになって着用 したりして賑やかにしています。 公民館まつりの作品では、み んな一生懸命頑張って編みまし た。みなさんが観覧に来られと ても喜んでいきます。

話はずむと調理のことや、 野菜の育て方、花の名前等の話 題にもなり一日を楽しく過ごし ています。手の指を動かすので、 脳の活性化にもよいのではない でしょうか。



中央公民館まつりでの作品展示 (2月9・10日)